

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

### 新規受託項目

項目コード	830902
検査項目名	HBVコア関連抗原(HBcrAg)
検体量	血液 2.0mL (分離剤入り生化学容器)
保存方法	冷蔵
検査方法	CLEIA法
基準値	3.0 LogU/mL 未満
所要日数	4 ~ 7日
検査実施料	290点* ([D013]肝炎ウイルス関連検査「9」B型肝炎ウイルスコア関連抗原)
検査判断料	144点(免疫学的検査判断料)
備考	*:保険適用条件 B型肝炎ウイルスコア関連抗原(HBcrAg)定量は、B型肝炎ウイルス感染の診断の補助及び治療効果の判定の目的で、血清又は血漿中のB型肝炎ウイルスコア関連抗原(HBcrAg)を測定した 場合に1月に1回に限り算定する。なお、[D023]微生物核酸同定・定量検査 又は同「5」のDNAポリメラーゼを同時に測定した場合は、主たるもののみ算定する。

受託開始日

2012年1月4日(水)

## B型肝炎ウイルスコア関連抗原(HBcrAg)

B型肝炎ウイルス(HBV)は、我が国において100万人以上のウイルス保有者が存在すると言われ、近年でも年間100～200件程度の新たな感染者が報告されています。

多くは不顕性に推移しますが、1割程度に肝炎を発症し、またその一部に慢性肝炎から肝硬変、肝細胞癌への進展が認められるといわれています。

従来、免疫学的検査法によるHBVの活動性のマーカーにはHBe抗原やHBe抗体が用いられていました。しかしHBe抗原陰性及びHBe抗体陽性でもHBVの活動性を示すことがあることや、プレコア領域の変異によりHBe抗原の陰性例が存在することなどがあり、HBVの活動性を迅速かつ的確に判断することが求められています。

本検査は、化学発光酵素免疫測定法(CLEIA)により、B型肝炎ウイルスコア関連抗原(HBcrAg)、すなわちHBe抗原、HBc抗原及びHBVプレコア蛋白(p22cr)を網羅的に測定するものです。

また、HBV量を直接的に把握する検査として、肝生検による肝細胞中のcovalently closed circular DNA(cccDNA)量の測定が行われますが、本検査はそのcccDNA量を間接的に反映するマーカーであり、核酸アナログ製剤投与下では、HBV-DNA量は速やかに低下するのに対し、HBcrAg量は緩徐に低下します。さらにHBV-DNA定量では判断できない核酸アナログ製剤(ラミブジン等)投与によるHBVの再燃予測や、投与中止時期の指標に有用だとされています。

### ■ 参考文献

伏見昌子, 他: 医学検査, 58(11), 1237～1241, 2009.